

ビッグデータを活用したAI予測による保健指導

● 取組概要

日本郵政グループ健康経営 KPI の一つである「ハイリスク者（緊急又は早急に医療機関の受診が必要なもの）の割合 1%以下」を達成することを目的として、2022 年度の健康診断結果において、血圧又は血糖の判定結果が「医療上の措置や精密検査を必要とするもの」に該当した社員のうち、次回（2023 年度）の健康診断においてハイリスク者になる可能性が高い社員を AI で予測し、それらの社員に対し、医療機関への早期受診を促すリーフレットを配付しました。

早期に医療機関を受診し、適切な治療を開始することで、ハイリスク者となることを未然に予防することができます。

● AI 予測

日本郵政グループ約 40 万人の健康診断結果（ビッグデータ）を基に、日本郵政グループ内の分析専門担当者が開発、作成を行っています。

● 今後の取組

KPI の達成に向け、今年度の施策の効果検証を行い、今後の施策の充実等を検討していきます。

<参考> 医療機関への早期受診を促すリーフレット